

# 2009年7～9月期GDP成長率(2次QE)予測

2009年12月3日

調査本部

TEL. 03-3591-1249

12月9日(水)、内閣府より2009年7～9月期の「四半期別GDP2次速報」(2次QE)が公表される。現段階で入手可能な基礎統計により推計すると、同期の実質GDP成長率は前期比+0.7%(年率+2.7%)に大きく下方修正される見込みである。法人企業統計の結果を受けて在庫投資、設備投資が下方修正となるほか、公共投資も下方修正されるとみられる。10～12月期以降は、政策効果が剥落する中で、景気の回復モメンタムが次第に鈍化してくるだろう。

## <上方修正に寄与>

輸出前期比 : +6.4% ⇒ +6.5%

## <下方修正に寄与>

設備投資前期比 : +1.6% ⇒ ▲1.9%

在庫投資寄与度 : +0.4%Pt ⇒ +0.3%Pt

公共投資前期比 : ▲1.2% ⇒ ▲1.6%

以上

2009年7～9月期の2次QE  
は▲0.5%Pt 下方修正

12月9日(水)、内閣府より2009年7～9月期の「四半期別GDP2次速報」(2次QE)が発表される。本日発表された法人企業統計等を受けて、みずほ総合研究所が試算したところ、7～9月期の実質GDP成長率(2次速報)は前期比+0.7%(年率+2.7%)と、1次速報段階の前期比+1.2%(年率+4.8%)から▲0.5%Ptほど下方修正される見込みである(図表1)。輸出が若干上方修正される一方、設備投資や在庫投資、公共投資が下方修正されるため内需寄与度のプラス幅が大きく縮小する形となる。民需の脆弱さを政府経済対策が下支えする構図に変化は無い。名目GDP成長率についても前期比▲0.3%と1次速報の前期比▲0.1%から下方修正される見込みである。

【 図表1 2009年7～9月期2次QE予測 】

		2009		1次QE
		Q2	Q3	Q3
実質GDP	前期比、%	0.7	0.7	1.2
	前期比年率、%	2.7	2.7	4.8
内需	前期比、%	▲ 0.8	0.2	0.8
民需	前期比、%	▲ 1.4	0.3	1.0
個人消費	前期比、%	1.0	0.7	0.7
住宅投資	前期比、%	▲ 10.2	▲ 7.7	▲ 7.7
設備投資	前期比、%	▲ 4.2	▲ 1.9	1.6
在庫投資	前期比寄与度、%Pt	▲ 0.7	0.3	0.4
公需	前期比、%	1.2	0.0	0.1
政府消費	前期比、%	▲ 0.2	0.4	0.4
公共投資	前期比、%	7.7	▲ 1.6	▲ 1.2
外需	前期比寄与度、%Pt	1.5	0.4	0.4
輸出	前期比、%	6.4	6.5	6.4
輸入	前期比、%	▲ 4.2	3.4	3.4
名目GDP	前期比、%	▲ 0.4	▲ 0.3	▲ 0.1
GDPデフレーター	前年比、%	0.4	0.2	0.2
内需デフレーター	前年比、%	▲ 1.7	▲ 2.6	▲ 2.6

(注)実額データより変化率を計算している為、公表されている変化率と一致しないことがある  
(資料)内閣府「四半期別GDP速報」よりみずほ総合研究所作成

設備投資は大幅に下方修正

法人企業統計季報によると、7～9月期の設備投資(ソフトウェアを除く全産業ベース)は前年比▲25.7%(4～6月期同▲22.2%)と引き続き大幅なマイナスとなった。供給側統計から推計されていた1次速報値に今回の法人企業統計の結果を加味すると、GDPベースの設備投資は1次速報の前期比+1.6%から同▲1.9%に大きく下方修正される見込みである。

在庫投資寄与度は1次速報値よりプラス幅が縮小

民間在庫投資は、法人企業統計の結果を受けて原材料在庫や仕掛品在庫の推計値が加わり、それぞれ1次速報段階での仮置き値から下振れしたとみられることから、実質GDP成長率に対する寄与度は1次速報段階の+0.4%Ptから+0.3%Ptに下方修正される見通しである。

内需寄与度は+0.2%Ptに大きく下方修正

その他の内需項目では、公共投資が前期比▲1.2%から同▲1.6%に下方修正されるものとみられ、内需寄与度は1次速報値の+0.8%Ptから+0.2%Ptに大きく下方修正されると予想している。なお、外需の寄与度は+0.4%Ptのままだろう。

10～12 月期以降、景気の回復  
 Momentumは次第に鈍化

10～12 月期から来年に向けては、輸出の回復は続くと思われるが、エコポイントなど耐久財購入支援策の限界効果剥落や冬のボーナスの減少などを受けて個人消費は低迷色が強まってくる可能性がある。公共投資も政権交代後の補正予算執行停止の影響が年末辺りから徐々に顕現化してくるものとみられる。内需全般の勢いが弱る可能性が高く、景気の回復 Momentumは鈍化し、次第に「踊り場」の様相が強まってくるだろう。

※ みずほ総合研究所では、2 次 Q E の発表を受けて、2009・10 年度内外経済見通しを改訂する予定（12/10 発表）です。

**MIZUHO**

The logo consists of the word "MIZUHO" in a bold, dark blue, sans-serif font. Below the text is a red, curved underline that starts under the 'M', goes under the 'I', 'Z', and 'U', and then curves upwards under the 'H' and 'O'.